

第三者意見報告書

当意見は、本報告書の記載内容、および同社の環境、人事、資材およびCSRの各担当者へのヒアリングに基づいて執筆しています。同社のCSRへの取り組みは、世界的にも先駆的な顧客との協働による「5本の樹」計画を通じた全国各地での生物多様性保全や、社外委員を含むCSR委員会の四半期ごとの定期開催など、環境負荷削減・保全を中心に、PDCA（マネジメント・サイクル）を適切に進め始めていると言えます。

高く評価すべき点

- 環境負荷削減・保全の推進について、1999年に「環境未来計画」、2005年に「サステナブル宣言」を行い、持続可能な社会の実現のために「4つの価値・13の指針」を明示し（P.20）、高断熱・高気密に太陽光発電・燃料電池などを組み合わせた「グリーンファースト」の採用比率が8割以上に達し（P.47）、顧客との協働による「5本の樹」を中心とした植栽が累計900万本を超えるなど、世界的にも先駆的かつ圧倒的な水準で実現していること。特に「5本の樹」と木材調達においては、NPO/NGOとの協働も深く長期的に進められており、エンゲージメントのすばらしい事例と言えます。

取り組みの進捗を評価しつつ、さらなる努力を求めたい点

- 顧客のストック価値の向上支援について、責任保証期間終了後も「ユートラスシステム」による10年ごとの再保証の継続や、自社建築住宅の買取再生事業「エバーループ」、一定条件を満たすリフォーム実施時の工事費一部負担（P.57）などを通じて取り組んでいることを評価するとともに、今後は、より多くの顧客が、長期的な価値の維持・向上に気付きやすくなる資料と機会づくりが進むことを、強く期待します。
- 従業員の人的ポートフォリオの拡充（P.65）について、2006年に「人材サステナビリティ宣言」を行い、女性の活躍、多様な人材の活用、ワーク・ライフ・バランスを重点課題と位置付け、育児・看護・介護のための休業・短時間勤務制度の利用者が積水ハウス株式会社単体の従業員の2.77%に達し、発達障碍の大学生のインターンシップを受け入れるなど、着実に推進していることを評価するとともに、今後は、国内のさらなる少子高齢化や国際事業の推進に対応し得る人的ポートフォリオの拡充に期待します。そのための具体的な施策として、特に、介護のための休業・短時間勤務制度の経験者による研修や、会社・業務以外の事項にも広範に応じる「なんでも相談」の機能強化が進むことを、強く期待します。
- 取引先における社会責任への取り組みの向上（P.64）について、改善点の抽出や対策立案のためのQC診断や方針管理研修を継続的に実施していることを評価するとともに、今後は、環境負荷削減や社会的な事項への取り組み状況をより詳細に把握して継続的な改善や向上を促すために、対象となる項目の細分化と把握の精度向上に期待します。
- 社会貢献活動（P.69）について、障碍のある人々によるノベルティ製作や、日本初の小児がん患者と家族のためのケアホームへの支援など、先駆的な取り組みが進められたことを高く評価するとともに、今後は、「マッチングプログラム」に参加・協力する従業員がさらに増えるよう、管理職層による助成先団体へのモニタリングやボランティアなど、現場で活動を体感する機会の拡充に期待します。



IIHOE [人と組織と地球のための国際研究所]

代表者 川北 秀人

川北 秀人

IIHOE：「地球上のすべての生命にとって、民主的で調和的な発展のために」を目的に1994年に設立されたNPO。主な活動は市民団体・社会事業家のマネジメント支援だが、大手企業のCSR支援も多く手がける。

<http://blog.canpan.info/iihoe/>（日本語のみ）